

西天北サーマルリサイクルファクトリー（幌延町）

北海道の北部に位置する西天北五町地域（豊富町、天塩町、遠別町、中川町、幌延町）が運営する西天北五町衛生施設組合が建設したリサイクル施設です。

URL:<https://www.town.horonobe.lg.jp/www4/section/jumin/public/le009f000001kcot-att/le009f000001ld8k.pdf>

ゼロカーボンの取組

○使用済み紙おむつの再資源化による混合燃料の活用

西天北五町地域はサロベツ原野をはじめとする豊かな自然に恵まれた地域です。環境負荷の低減を目指し、域内で排出される使用済み紙おむつを燃料化することで、化石燃料の使用量低減による二酸化炭素削減に努めています。

【混合燃料について】

地域で産出される木質バイオマス（剪定枝）と乾燥滅菌処理した大人用使用済み紙おむつを^{せんていし} 燃焼効率の高い比率で混合・圧縮し、ペレット燃料を製造しています。

廃棄物と地域資源を結びつけ、地域で燃料として消費する仕組みを生み出し、地域の経済循環と雇用の創出や廃棄物の減少による環境への貢献などにつなげることを目標としています。

【原料】



▲紙おむつ原料化装置



▲木質バイオマス

【加工・成型】



▲破砕機



▲造粒機

【燃料化】



▲製造されたペレット燃料

燃料利用先へ搬送
エネルギーの地域還元

特に力を入れていること 工夫している点

①自然エネルギーの利用と地域へのエネルギー還元

施設では最新のシステムにより安全で効率的に製造しています。

製造工程では、太陽光を活用し木質チップの乾燥を行うなど、周辺環境への最大限の配慮に努めています。

また、製造された混合燃料は、令和3年から地域の特養老人ホームの熱利用ボイラーに使用され、給湯などに利用されています。



▲太陽光を活用した木質チップ乾燥設備



▲福祉施設での燃料利用

②ゴミ処分問題への貢献

これまで再資源化できないゴミとして埋め立て処分していた大人用紙おむつ（約300トン／年）の4～5割を資源化することにより、処分場逼迫化の緩和に貢献するとともに、地域の課題解決に向けた取組として期待されています。

今後の目標・取組

○地域の素晴らしさを未来へつなげるために

施設の稼働により地域でのエネルギーの地産地消を実現する取組が一步前進しました。

今後も、混合燃料の利活用拡大について様々な検討を行いながら、循環型社会と地産地消システムの構築に向けた取組を進め、「誰もが暮らしやすく、環境に優しいまちづくり」に努めてまいります。